

平成 27 年度 法科大学院（法務研究科）入学試験

刑 法 問 題 紙

C日程

平成 27 年 2 月 22 日

15 : 15～16 : 45 (90 分)

(120 点)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 刑法の問題紙は 1 ページのみである。
3. 解答用紙は、問題 1 と問題 2 の 2 枚である。解答用紙の追加は認めない。
4. 解答用紙は 2 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

問題 1 (60 点)

X は、求愛した甲からすげなく断られたためこれを深く恨むようになり、甲に復讐することを考えた。そして、致死量の毒を塗ったカステラを甲に送ることを計画し、取りあえず毒を塗ったカステラを甲宛ての小包にして置いておいたところ、家人の乙が気を利かせて小包を配達業者に託してしまった。これを知った X は、一瞬どうしようかと悩んだが、このまま甲がカステラを食べて死亡するならばそれでもよいと考え、ほっておくことにした。甲は、受け取ったカステラをテーブル上に置いておいたところ、偶々甲宅に遊びに来た丙がこれを食べて死亡した。

X の罪責について論じなさい。

問題 2 (60 点)

不動産業を営む X は、自己が所有する土地(登記済み)を甲に売却し、その代金を受領した。その後、このことを聞きつけた Y は、いまだ X から甲への移転登記がされていないことを奇貨として、不仲の甲が当該土地を入手するのを妨害する意図で、当該土地を自己に売却するように X に働きかけたところ、X はこれを承諾し、Y に当該土地を売却して登記を移転した。

X 及び Y の罪責について論じなさい。